

# 青森県景気ウォッチャー調査

## 【2025(令和7)年1月期】

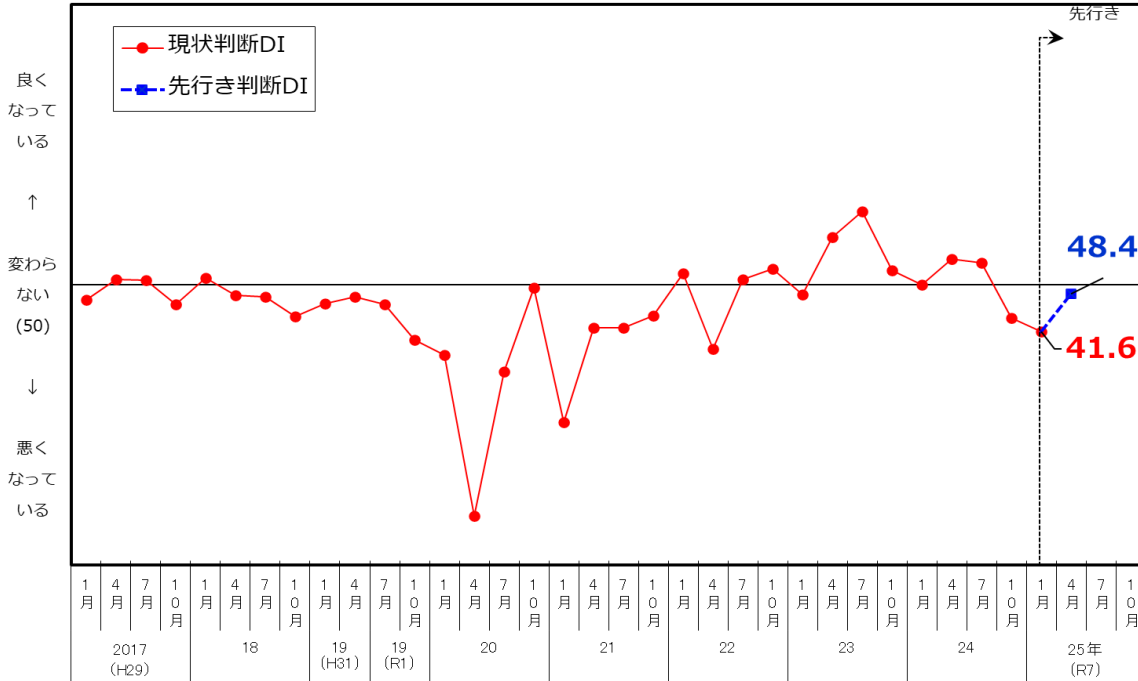
調査期間 2024(令和6)年12月27日～2025(令和7)年1月21日 回答率92%

### 概 況

1月期の景気の現状判断DIは41.6となり、前期から2.5ポイント低下し、景気の横ばいを示す50を下回った。

先行き判断DIは、現状判断DIと比べて6.8ポイント上昇の48.4となった。

景気現状判断DIの推移・今後の先行き判断DI



2025(令和7)年2月

青森県総合政策部統計分析課

## 1. 結果概要

### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

#### ① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が1.1ポイント低下、「やや良くなっている」が5.2ポイント低下、「変わらない」が3.7ポイント上昇、「やや悪くなっている」が2.6ポイント上昇、「悪くなっている」が同水準となった。

全体では41.6となり、前期から2.5ポイント低下し、景気の横ばいを示す50を下回った。

判断理由では、エネルギー価格を始めとする物価の上昇や災害級の大雪により消費者の購買意欲が減少しているという声が多くあった一方で、インバウンドが増えたといった声もみられた。

#### ② 分野別の動向

前期調査と比べると、家計関連全体で2.2ポイント低下、企業関連で1.5ポイント上昇、雇用関連で16.7ポイント低下となった。

#### ③ 地区別の動向

前期調査と比べて、津軽は2.6ポイント上昇、県南は同水準となったものの、景気横ばいを示す50を下回った。東青では9.4ポイント、下北（参考）では3.3ポイント低下し、景気の横ばいを示す50を下回った。

### (2) 3か月後の景気の先行き判断DI

#### ① 県全体の動向

今期調査の現状判断DIと比べると、「良くなる」が1.1ポイント上昇、「やや良くなる」が7.6ポイント上昇、「変わらない」が6.6ポイント上昇、「やや悪くなる」が13.1ポイント低下、「悪くなる」が2.1ポイント低下となった。

全体では48.4となり、今期調査の現状判断DIと比べて6.8ポイント上昇したものの、景気の横ばいを示す50を下回った。

判断理由では、賃金上昇のプラス分を物価上昇が相殺している状況が改善される兆候がないといった声が多くあった一方で、冬が終わり、人流の活発化に期待する声もあった。

#### ② 分野別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、家計関連全体で6.9ポイント上昇、企業関連で2.9ポイント上昇、雇用関連で16.7ポイント上昇となった。

#### ③ 地区別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、東青で9.6ポイント、下北（参考）では11.1ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を上回った。津軽では7.1ポイント、県南では2.6ポイント上昇したものの、景気の横ばいを示す50を下回った。

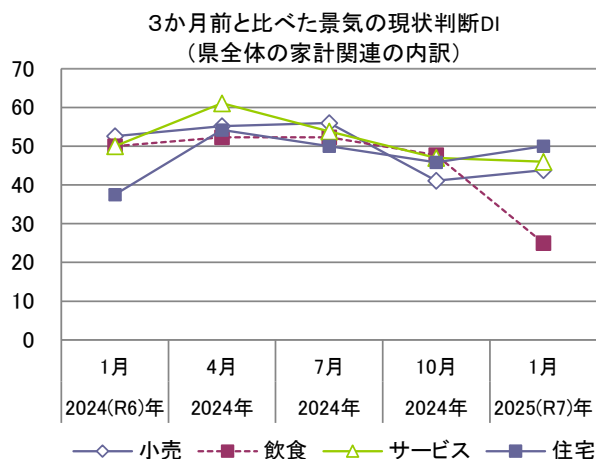
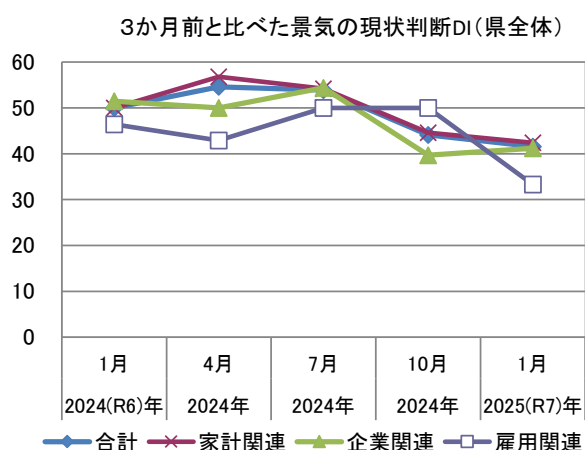
## 2. 県全体の動向

### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断

#### ①DI

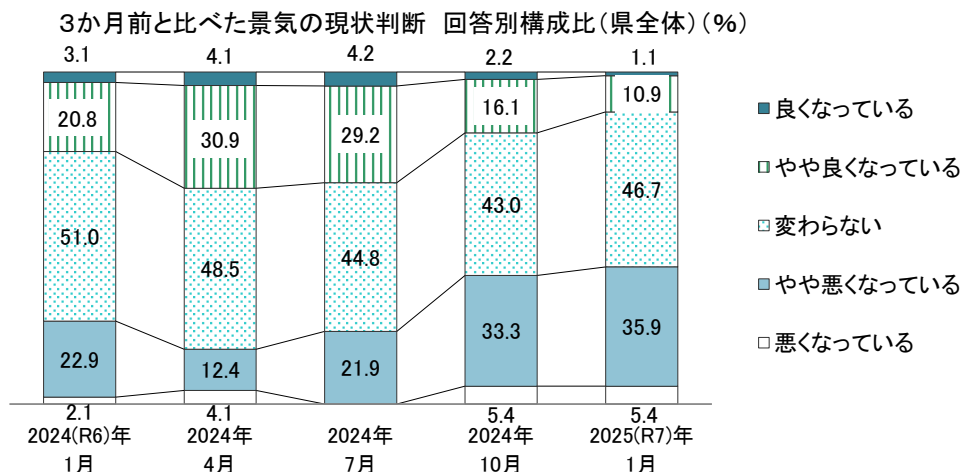
n = 92

	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	前期調査 との差
合計	50.0	54.6	53.9	44.1	41.6	▲ 2.5
家計関連	50.0	56.8	54.2	44.6	42.4	▲ 2.2
小売	52.6	55.2	56.0	41.1	43.8	2.7
飲食	50.0	52.3	52.3	47.7	25.0	▲ 22.7
サービス	50.0	61.1	53.8	47.0	46.0	▲ 1.0
住宅	37.5	54.2	50.0	45.8	50.0	4.2
企業関連	51.5	50.0	54.4	39.7	41.2	1.5
雇用関連	46.4	42.9	50.0	50.0	33.3	▲ 16.7



#### ②回答別構成比 (%)

	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	前期調査 との差
良くなっている	3.1	4.1	4.2	2.2	1.1	▲ 1.1
やや良くなっている	20.8	30.9	29.2	16.1	10.9	▲ 5.2
変わらない	51.0	48.5	44.8	43.0	46.7	3.7
やや悪くなっている	22.9	12.4	21.9	33.3	35.9	2.6
悪くなっている	2.1	4.1	0.0	5.4	5.4	0.0



(2) 3か月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

n = 92

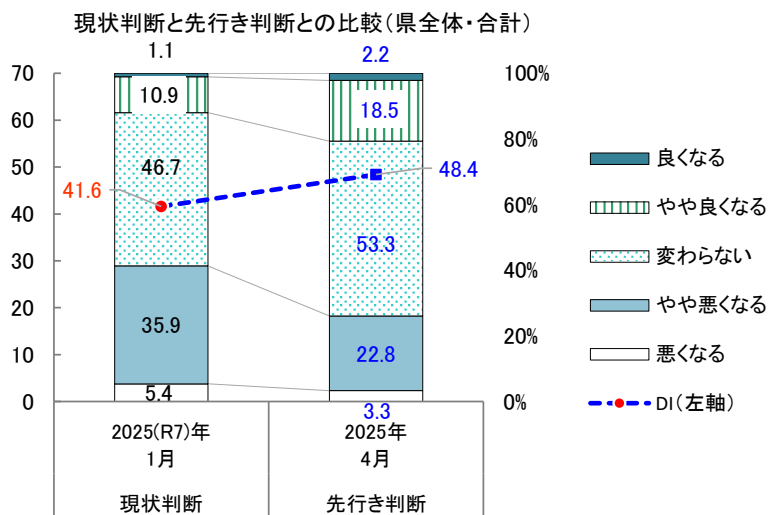
	2024(R6)年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	前期調査 との差
合 計	50.0	57.7	53.9	44.1	48.4	4.3
家計関連	50.3	60.6	52.1	43.2	49.3	6.1
小売	51.7	56.0	50.0	41.1	47.3	6.2
飲食	52.3	65.9	52.3	52.3	47.5	▲ 4.8
サービス	49.0	63.9	54.8	43.0	51.0	8.0
住宅	45.8	58.3	50.0	37.5	54.2	16.7
企業関連	50.0	48.5	61.8	45.6	44.1	▲ 1.5
雇用関連	46.4	50.0	53.6	50.0	50.0	0.0

② 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 2025(R7)年 1月	先行き判断 2025年 4月	差
合 計	41.6	48.4	6.8
家計関連	42.4	49.3	6.9
小売	43.8	47.3	3.5
飲食	25.0	47.5	22.5
サービス	46.0	51.0	5.0
住宅	50.0	54.2	4.2
企業関連	41.2	44.1	2.9
雇用関連	33.3	50.0	16.7

・回答別構成比 (%)

	現状判断 2025(R7)年 1月	先行き判断 2025年 4月	差
良くなる	1.1	2.2	1.1
やや良くなる	10.9	18.5	7.6
変わらない	46.7	53.3	6.6
やや悪くなる	35.9	22.8	▲ 13.1
悪くなる	5.4	3.3	▲ 2.1



### 3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

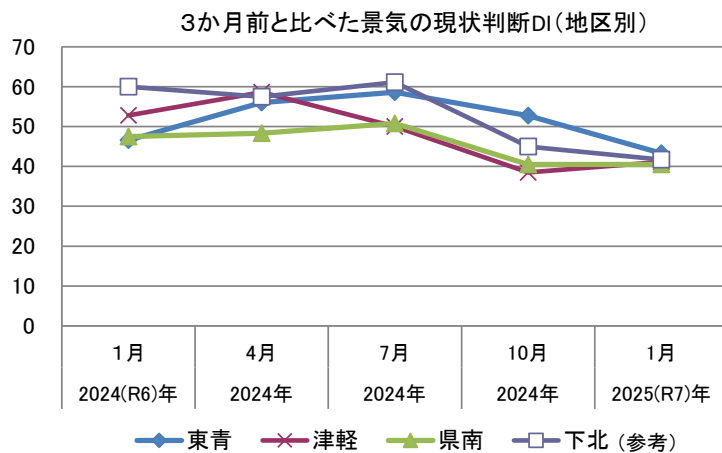
#### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

##### ①DI

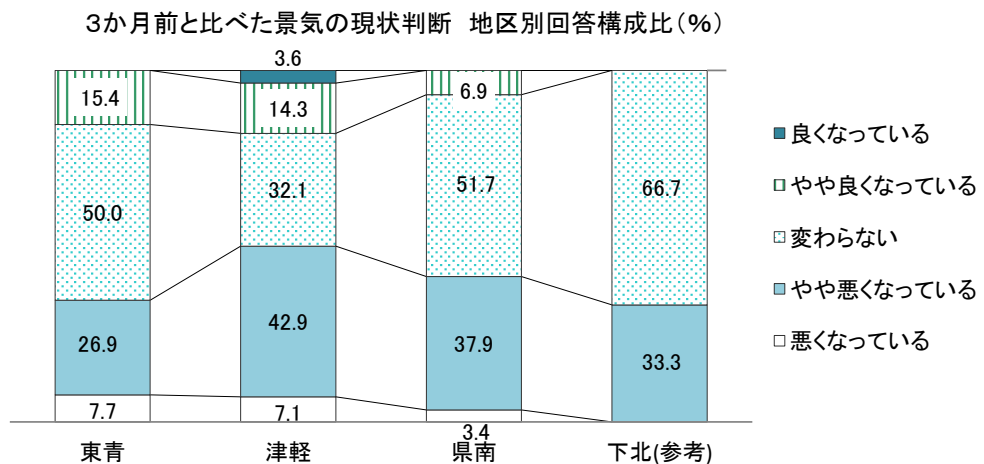
n = 92

	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	前期調査 との差
合 計	50.0	54.6	53.9	44.1	41.6	▲ 2.5
東青	46.6	56.0	58.6	52.7	43.3	▲ 9.4
津軽	52.8	58.6	50.0	38.5	41.1	2.6
県南	47.5	48.3	50.8	40.5	40.5	0.0
下北	60.0	57.5	61.1	45.0	41.7	▲ 3.3



##### ②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北(参考)
良くなっている	0.0	3.6	0.0	0.0
やや良くなっている	15.4	14.3	6.9	0.0
変わらない	50.0	32.1	51.7	66.7
やや悪くなっている	26.9	42.9	37.9	33.3
悪くなっている	7.7	7.1	3.4	0.0



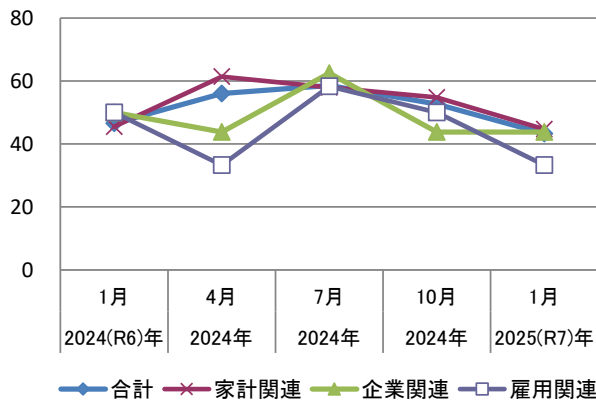
<東青地区>

①DI

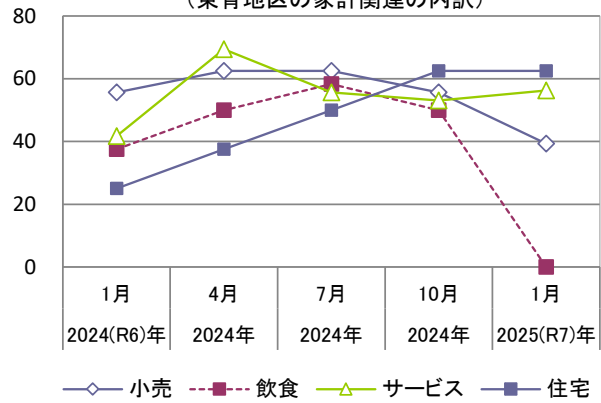
n = 26

	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	前期調査 との差
合 計	46.6	56.0	58.6	52.7	43.3	▲ 9.4
家計関連	45.5	61.4	58.0	54.8	44.7	▲ 10.1
小売	55.6	62.5	62.5	55.6	39.3	▲ 16.3
飲食	37.5	50.0	58.3	50.0	0.0	▲ 50.0
サービス	41.7	69.4	55.6	53.1	56.3	3.2
住宅	25.0	37.5	50.0	62.5	62.5	0.0
企業関連	50.0	43.8	62.5	43.8	43.8	0.0
雇用関連	50.0	33.3	58.3	50.0	33.3	▲ 16.7

3か月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



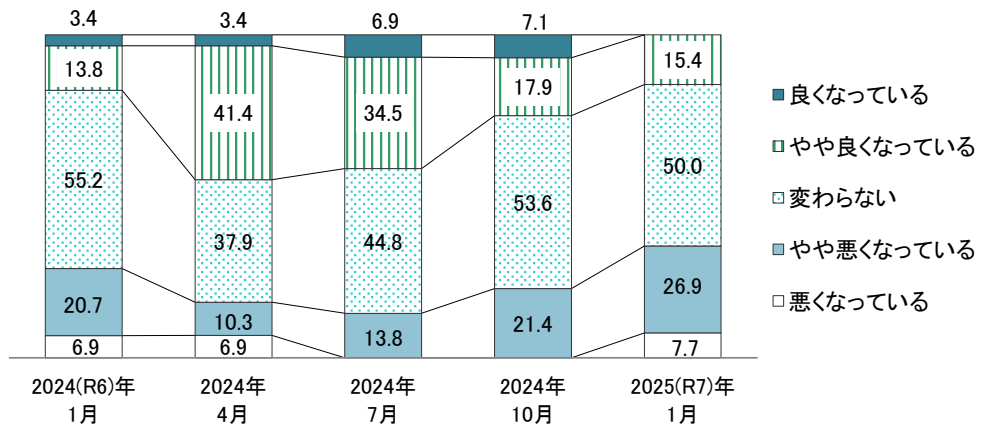
3か月前と比べた景気の現状判断DI  
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	前期調査 との差
良くなっている	3.4	3.4	6.9	7.1	0.0	▲ 7.1
やや良くなっている	13.8	41.4	34.5	17.9	15.4	▲ 2.5
変わらない	55.2	37.9	44.8	53.6	50.0	▲ 3.6
やや悪くなっている	20.7	10.3	13.8	21.4	26.9	5.5
悪くなっている	6.9	6.9	0.0	0.0	7.7	7.7

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



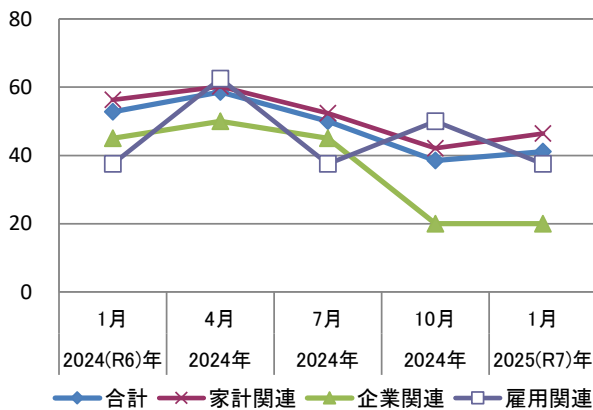
<津軽地区>

①DI

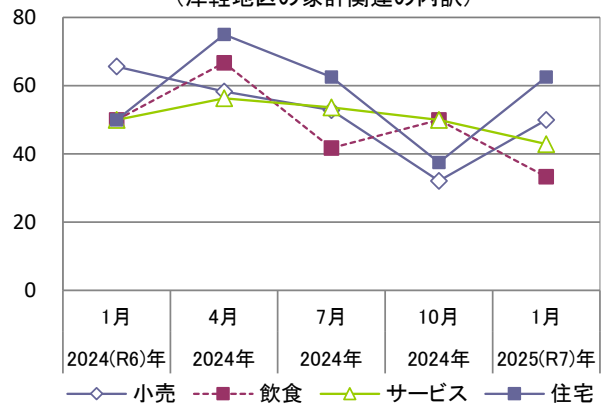
n=28

	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	前期調査 との差
合計	52.8	58.6	50.0	38.5	41.1	2.6
家計関連	56.3	60.2	52.4	42.1	46.4	4.3
小売	65.6	58.3	52.8	32.1	50.0	17.9
飲食	50.0	66.7	41.7	50.0	33.3	▲ 16.7
サービス	50.0	56.3	53.6	50.0	42.9	▲ 7.1
住宅	50.0	75.0	62.5	37.5	62.5	25.0
企業関連	45.0	50.0	45.0	20.0	20.0	0.0
雇用関連	37.5	62.5	37.5	50.0	37.5	▲ 12.5

3か月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



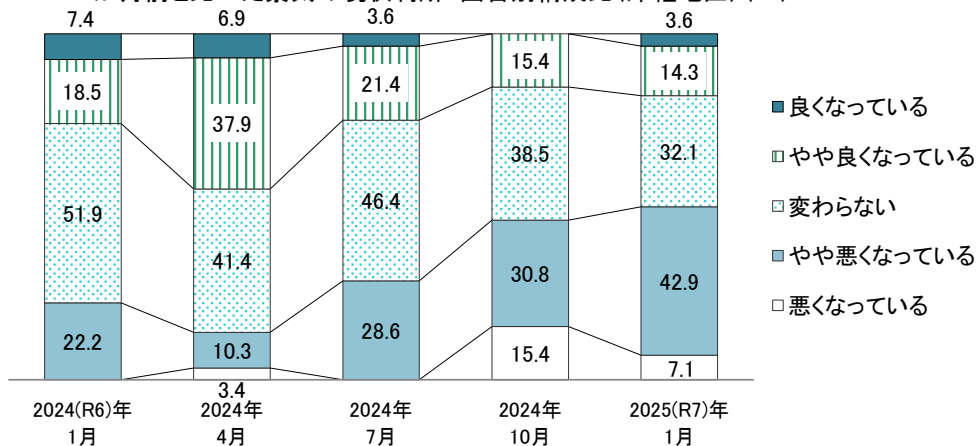
3か月前と比べた景気の現状判断DI  
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	前期調査 との差
良くなっている	7.4	6.9	3.6	0.0	3.6	3.6
やや良くなっている	18.5	37.9	21.4	15.4	14.3	▲ 1.1
変わらない	51.9	41.4	46.4	38.5	32.1	▲ 6.4
やや悪くなっている	22.2	10.3	28.6	30.8	42.9	12.1
悪くなっている	0.0	3.4	0.0	15.4	7.1	▲ 8.3

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区) (%)



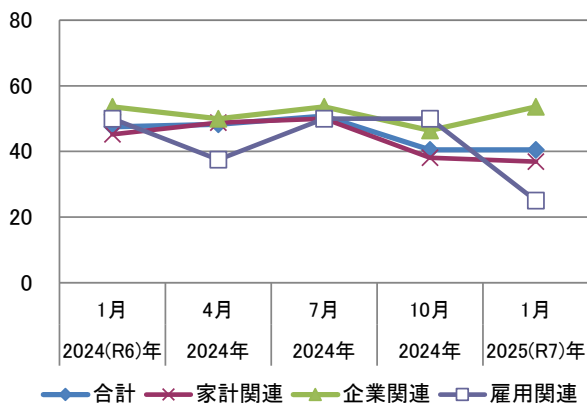
<県南地区>

①DI

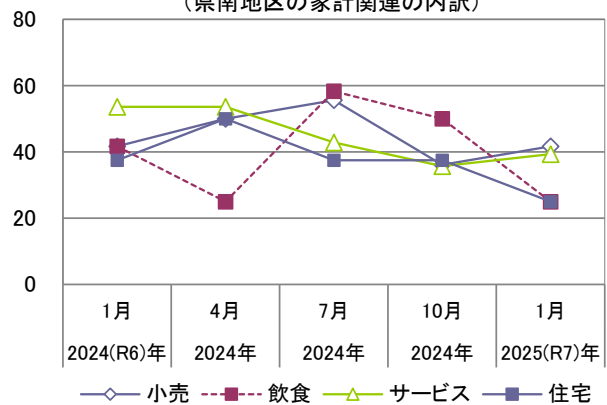
n = 29

	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	前期調査 との差
合計	47.5	48.3	50.8	40.5	40.5	0.0
家計関連	45.2	48.8	50.0	38.1	36.9	▲ 1.2
小売	41.7	50.0	55.6	36.1	41.7	5.6
飲食	41.7	25.0	58.3	50.0	25.0	▲ 25.0
サービス	53.6	53.6	42.9	35.7	39.3	3.6
住宅	37.5	50.0	37.5	37.5	25.0	▲ 12.5
企業関連	53.6	50.0	53.6	46.4	53.6	7.2
雇用関連	50.0	37.5	50.0	50.0	25.0	▲ 25.0

3か月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



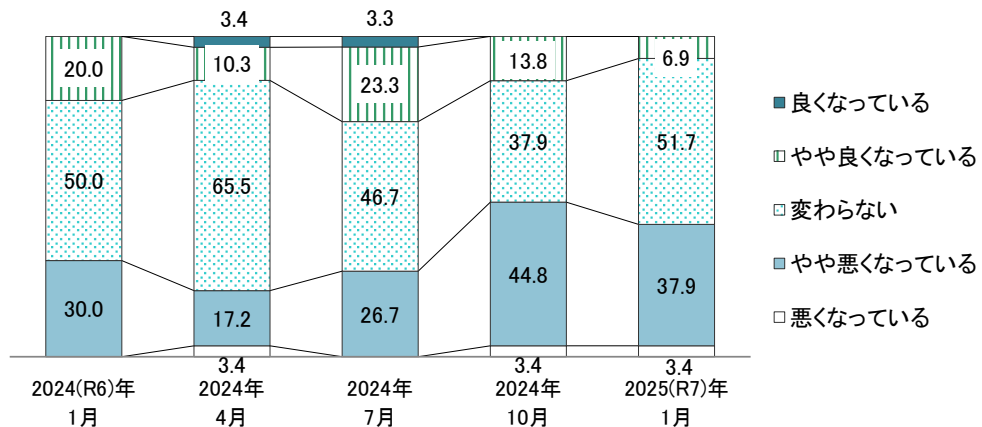
3か月前と比べた景気の現状判断DI  
(県南地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	3.4	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	20.0	10.3	23.3	13.8	6.9	▲ 6.9
変わらない	50.0	65.5	46.7	37.9	51.7	13.8
やや悪くなっている	30.0	17.2	26.7	44.8	37.9	▲ 6.9
悪くなっている	0.0	3.4	0.0	3.4	3.4	0.0

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)



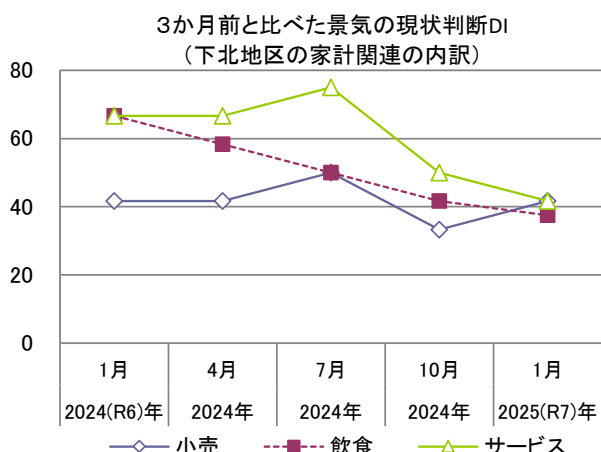
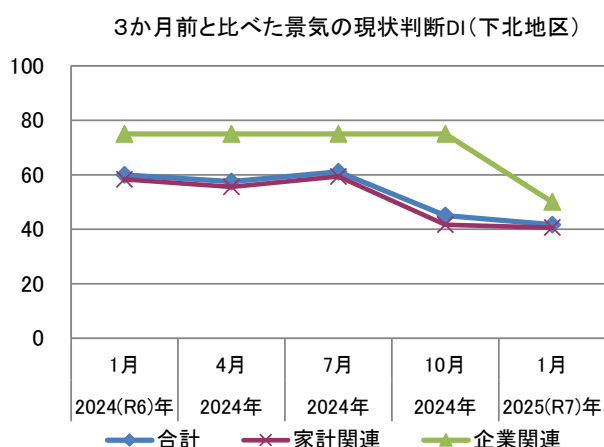


<下北地区> (参考)

①DI

n = 9

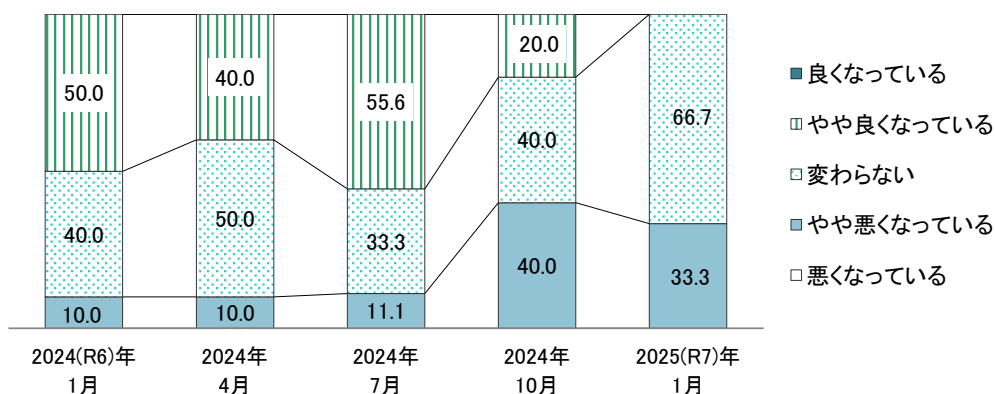
	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	前期調査 との差
合計	60.0	57.5	61.1	45.0	41.7	▲ 3.3
家計関連	58.3	55.6	59.4	41.7	40.6	▲ 1.1
小売	41.7	41.7	50.0	33.3	41.7	8.4
飲食	66.7	58.3	50.0	41.7	37.5	▲ 4.2
サービス	66.7	66.7	75.0	50.0	41.7	▲ 8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	75.0	75.0	75.0	50.0	▲ 25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比 (%)

	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	50.0	40.0	55.6	20.0	0.0	▲ 20.0
変わらない	40.0	50.0	33.3	40.0	66.7	26.7
やや悪くなっている	10.0	10.0	11.1	40.0	33.3	▲ 6.7
悪くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(下北地区)(%)



(2) 3か月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

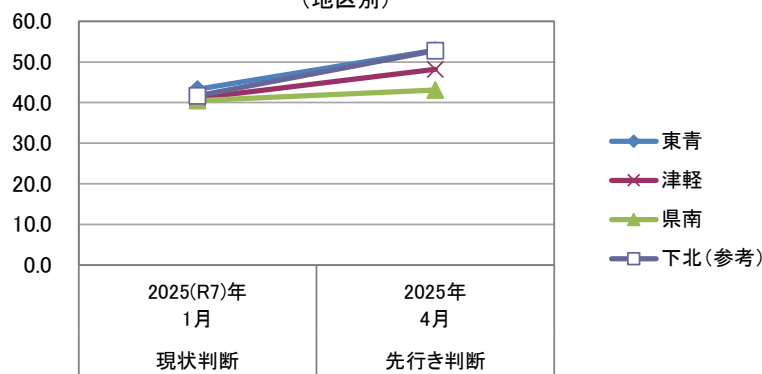
<地区別>

① 今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較

n = 92

	現状判断	先行き判断	差
	2025(R7)年 1月	2025年 4月	
合計	41.6	48.4	6.8
東青	43.3	52.9	9.6
津軽	41.1	48.2	7.1
県南	40.5	43.1	2.6
下北	41.7	52.8	11.1

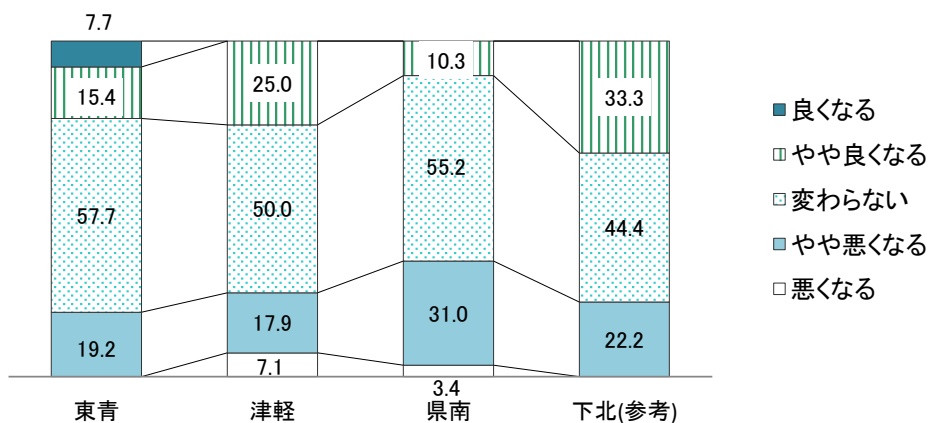
今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較  
(地区別)



② 地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北(参考)
良くなる	7.7	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	15.4	25.0	10.3	33.3
変わらない	57.7	50.0	55.2	44.4
やや悪くなる	19.2	17.9	31.0	22.2
悪くなる	0.0	7.1	3.4	0.0

3か月後の景気の先行き判断 地区別回答構成比(%)



<東青地区> ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

①DI

n = 26

	2024(R6)年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	前期調査 との差
合 計	52.6	61.2	62.1	44.6	52.9	8.3
家計関連	53.4	63.6	62.5	42.9	56.6	13.7
小売	61.1	71.9	65.6	41.7	50.0	8.3
飲食	62.5	50.0	66.7	62.5	62.5	0.0
サービス	41.7	63.9	63.9	37.5	56.3	18.8
住宅	62.5	50.0	37.5	50.0	75.0	25.0
企業関連	43.8	62.5	68.8	56.3	50.0	▲ 6.3
雇用関連	58.3	41.7	50.0	41.7	33.3	▲ 8.4

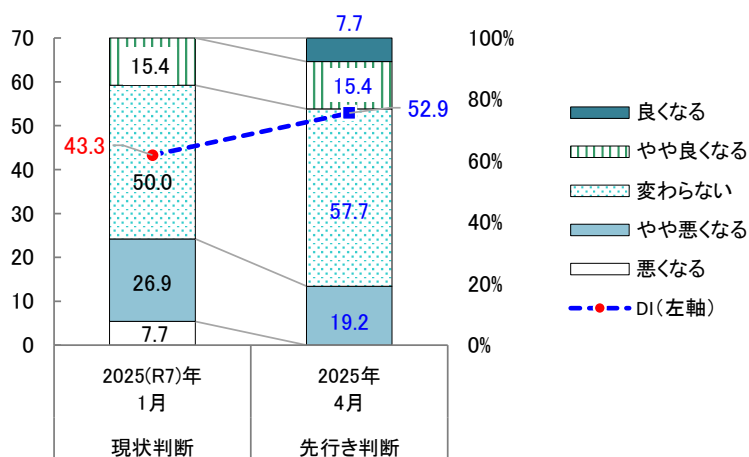
②今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較

	現状判断 2025(R7)年 1月	先行き判断 2025年 4月	差
合 計	43.3	52.9	9.6
家計関連	44.7	56.6	11.9
小売	39.3	50.0	10.7
飲食	0.0	62.5	62.5
サービス	56.3	56.3	0.0
住宅	62.5	75.0	12.5
企業関連	43.8	50.0	6.2
雇用関連	33.3	33.3	0.0

・回答別構成比 (%)

	現状判断 2025(R7)年 1月	先行き判断 2025年 4月	差
良くなる	0.0	7.7	7.7
やや良くなる	15.4	15.4	0.0
変わらない	50.0	57.7	7.7
やや悪くなる	26.9	19.2	▲ 7.7
悪くなる	7.7	0.0	▲ 7.7

現状判断と先行き判断との  
比較(東青・合計)



<津軽地区> ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

n = 28

	2024(R6)年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	前期調査 との差
合 計	50.9	60.3	50.9	39.4	48.2	8.8
家計関連	52.5	64.8	47.6	40.8	50.0	9.2
小売	56.3	61.1	44.4	39.3	52.8	13.5
飲食	50.0	66.7	41.7	33.3	41.7	8.4
サービス	50.0	65.6	53.6	46.4	53.6	7.2
住宅	50.0	75.0	50.0	37.5	37.5	0.0
企業関連	50.0	40.0	60.0	30.0	35.0	5.0
雇用関連	37.5	62.5	62.5	50.0	62.5	12.5

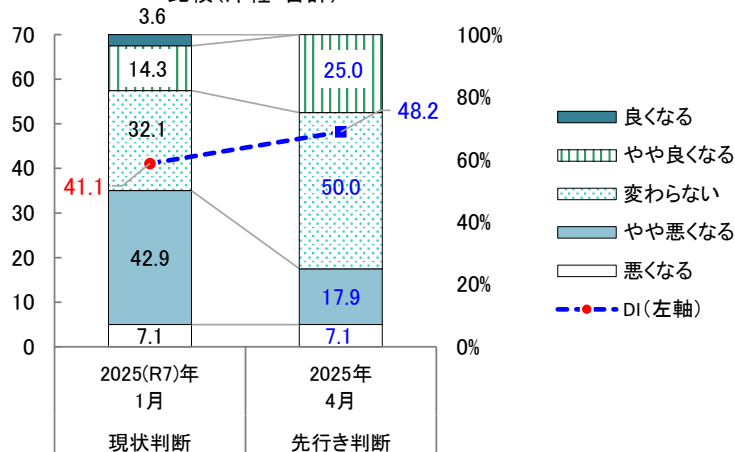
② 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 2025(R7)年 1月	先行き判断 2025年 4月	差
合 計	41.1	48.2	7.1
家計関連	46.4	50.0	3.6
小売	50.0	52.8	2.8
飲食	33.3	41.7	8.4
サービス	42.9	53.6	10.7
住宅	62.5	37.5	▲ 25.0
企業関連	20.0	35.0	15.0
雇用関連	37.5	62.5	25.0

・回答別構成比 (%)

	現状判断 2025(R7)年 1月	先行き判断 2025年 4月	差
良くなる	3.6	0.0	▲ 3.6
やや良くなる	14.3	25.0	10.7
変わらない	32.1	50.0	17.9
やや悪くなる	42.9	17.9	▲ 25.0
悪くなる	7.1	7.1	0.0

現状判断と先行き判断との  
比較(津軽・合計)



<県南地区> ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

n = 29

	2024(R6)年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	前期調査 との差
合 計	46.7	51.7	49.2	49.1	43.1	▲ 6.0
家計関連	46.4	55.0	46.4	47.6	41.7	▲ 5.9
小売	38.9	44.4	44.4	44.4	41.7	▲ 2.7
飲食	50.0	87.5	58.3	66.7	41.7	▲ 25.0
サービス	60.7	60.7	39.3	50.0	39.3	▲ 10.7
住宅	25.0	50.0	62.5	25.0	50.0	25.0
企業関連	50.0	42.9	57.1	50.0	42.9	▲ 7.1
雇用関連	37.5	50.0	50.0	75.0	75.0	0.0

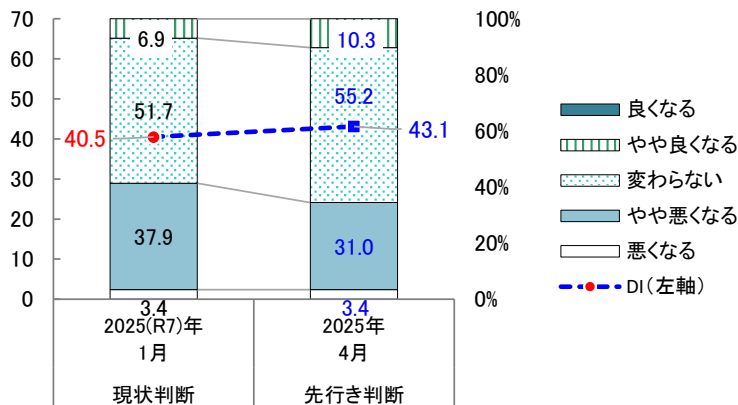
② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 2025(R7)年 1月	先行き判断 2025年 4月	差
合 計	40.5	43.1	2.6
家計関連	36.9	41.7	4.8
小売	41.7	41.7	0.0
飲食	25.0	41.7	16.7
サービス	39.3	39.3	0.0
住宅	25.0	50.0	25.0
企業関連	53.6	42.9	▲ 10.7
雇用関連	25.0	75.0	50.0

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 2025(R7)年 1月	先行き判断 2025年 4月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	6.9	10.3	3.4
変わらない	51.7	55.2	3.5
やや悪くなる	37.9	31.0	▲ 6.9
悪くなる	3.4	3.4	0.0

現状判断と先行き判断との  
比較(県南・合計)



<下北地区> (参考) ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

n = 9

	2024(R6)年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	前期調査 との差
合計	50.0	57.5	52.8	40.0	52.8	12.8
家計関連	47.2	55.6	50.0	38.9	50.0	11.1
小売	50.0	33.3	41.7	33.3	41.7	8.4
飲食	50.0	66.7	37.5	50.0	50.0	0.0
サービス	41.7	66.7	66.7	33.3	58.3	25.0
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	75.0	75.0	50.0	75.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

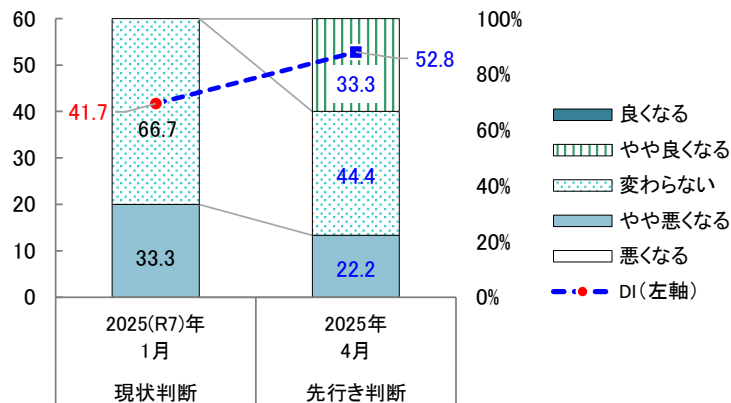
② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 2025(R7)年 1月	先行き判断 2025年 4月	差
合計	41.7	52.8	11.1
家計関連	40.6	50.0	9.4
小売	41.7	41.7	0.0
飲食	37.5	50.0	12.5
サービス	41.7	58.3	16.6
住宅	-	-	-
企業関連	50.0	75.0	25.0
雇用関連	-	-	-

・回答別構成比 (%)

	現状判断 2025(R7)年 1月	先行き判断 2025年 4月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	0.0	33.3	33.3
変わらない	66.7	44.4	▲ 22.3
やや悪くなる	33.3	22.2	▲ 11.1
悪くなる	0.0	0.0	0.0

現状判断と先行き判断との  
比較(下北・合計)



## 4. 判断理由

### (1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	津軽	百貨店・スーパー	物価が上昇しているのと、減税の効果もあり、買物をする方が増えているように感じる。
やや良くなっている	家計	東青	タクシー	業種的に、コロナ禍以降緩やかであったのが上向いております。要因として、市内同業の破産・廃業があったためと、昨年より圧倒的に多い雪の影響が大きいです。昨年より宴会する機会も増えている影響もあると考えております。例年、観光閑散期ではありますが、今年はインバウンド向け観光が急増しています。
			観光型ホテル・旅館	弊社は宿泊業だが、コロナ後の動向としてお客様の動きが活発化。原価高騰などの影響によりいろいろなものの価格は上昇しているが、一定の活動は見られており、景気がマイナスという感じはしない。ただし、数値的に比較したものではないので肌感の印象です。
			美容院	相変わらず物価は高くなりましたが、消費者の方々はそれなりに消費しているようです。
			住宅建設販売	昨年の11月から2025年の建築基準法の改正や建材の値上げを危惧されるお客様が動き始め、来場される方やお問い合わせが増えてきたため。また、メディアでも今の価格水準は将来的に下がる見込みは低いとの表現が増えた点も要因と思われます。
	津軽	観光型ホテル・旅館	前年対比で売上げが伸びている。	
		商店街	海外旅行客、年末年始の買い物で商店街でしてくれるお客様が少し増えた。	
		住宅建設販売	生活物資も高騰、建築資材も高騰で買い控え、住宅だと様子見の傾向が高く、意識が下降気味だから。	
	県南	卸売業	御歳暮商戦が活発になる時期のため。年末は特に大きくお金を使う人が多い。	
	企業	県南	飲料品製造	年末の動きが通常通りの盛り上がりを見せており、夜の人出なども活発に見える。直売所への来客なども多く、販売も堅調に推移している感がある。
	変わらない	家計	東青	観光名所等
百貨店・スーパー				商品価格の値上げにも慣れてきたような感じがあり、全体の購入する金額は大きな変化はない。買い物のメリハリ、節約志向は継続しています。
コンビニ				大雪の影響で車利用のお客様が減ったが、近辺のお客様が増えたのでほとんど変わらない。
旅行代理店				実績件数、扱い額等も春から比べると横ばいのため。
設計事務所				景気浮上のきっかけになる状況の変化がなく、例年よりも早く積雪が多くダメージの方が多いです。地元で建築技術者を派遣会社に依頼したところ、月60万での雇用。厳しさの中でのやり繰りが続行しております。
娯楽業				12月の集客がいまいちでした。

現状	分野	地区	業種	理由	
変わらない	家計	東青	商店街	地元のお客様については変わらずご利用頂いています。加えて、旅行中の小物不足品を買いに立ち寄るアジア系を中心とした外国の方々が増えています。	
			津軽	設計事務所	例年通りの状況ですが、今現在は昨年受注した業務を進めています。民間による発注業務はこれから、官公庁の業務であれば新年度からとなりますので、3か月前とあまり変わらない状況であると思います。
		乗用車販売		コロナ禍以降、物価高による支出が増え、高額消費が冷え込んでいる。	
		県南	観光名所等	夏から秋まで高温が続き、果樹(主にりんご)が不作のうえ、大玉が多く高値のため、売上げが伸びなかった。	
			タクシー	業種的に閑散月と繁忙月との比較になるため、単純に比べられないが、特段景気が上向いてるとは言い難い。忘年会等の宴席等も年々少なくなっており、タクシー利用の機会も減っている。業務の効率化で、売上げを維持している状態だ。	
			一般飲食店	季節的な要因で各月良い月、悪い月等あり。平均するととんかつかなという所です。その要因の中には、天気、イベントなどが考えられる。また、原材料の高騰にはついていけない現状です。結果利益を圧迫。	
			商店街	冬の寒い気候で積雪もあるが、ガソリンや灯油の価格が高く、支出を控えているように感じるから。	
			美容院	来店頻度が変わらないまたは少なめ。少し間隔が空いている様に思う。商品の販売も少なめになっている。	
			衣料専門店	年末年始を迎え消費行動は活発化しているが、生活コストの値上げによる節約志向が継続。原材料費の高騰により商品単価も上昇し、買い控えの原因となっている。	
			家電量販店	ガソリン代の値上げや物価上昇の影響を感じる。	
			乗用車販売	業績が前年を下回ってきているが、物価高・エネルギー燃料高に加えて人員確保の課題を抱えており、例年以上の賃上げが予想される。仕事の効率見直しだけでは、人件費アップに追いつかない。	
			下北	百貨店・スーパー	各種値上がり。農産物の不作等で商品の価格が高騰し、実質賃金の伸びとの間に格差が生じているので動向が鈍い。
				都市型ホテル	宿泊客数は閑散期の割には大きく落ち込んではいないものの、年末の忘年会シーズンでの宴会数が大きく下回った。たまたま民間企業の大きい忘年会があり、売上げ的には前年並みを確保したが、官公庁関連の宴会は激減した。
		ガソリンスタンド		冠婚葬祭以外はコロナ禍前に戻りつつあるようだが、物価高が家計や会社経費を圧迫している。	
		コンビニ		500円玉・100円玉で買い物をして、かき集めて買っている。	
		企業	東青	広告・デザイン	売上げの伸びがない。
				食料品製造	購入意欲としては、前向きに検討する相手先が多く見受けられるが、個人的には光熱費、地域的には燃料費の負担がダメージとなり、かげりが出そうな予感がします。
				建設	原価の上昇を価格に転嫁できていない中での、他社との価格競争をする状態が続きます。



現状	分野	地区	業種	理由	
変わらない	企業	県南	経営コンサルタント	人流の増加で引き続き宿泊、観光、飲食業の売上は増加しているが、一方で、最低賃金の大幅な増加や原材料価格の上昇がおさまっていないので、利益も売上げと比例して増加しているとは言えないのが実状である。	
			広告・デザイン	職種によってだいぶ状況が違うようではあるが、物価の上昇により経費が大きくなり必然的に利益は下がっている。	
			建設	近頃日本全体の景気が良くなったように映るが、単にインバウンド需要が押し上げているだけで、大概の日本人の生活には良くなったと思える材料が何もない。ただ、コロナが終息してきて我慢していた分の反動が、一時的に旅行や消費を底上げしているだけ。ホテルなどがインバウンド客に合わせて宿泊費が高騰し、我々社員が出張しても泊まれるホテルがなくなってきている。	
			電気機械製造	相変わらず安い物を探し求める方々ばかりで、最低賃金上昇に伴うコストアップを認めていこうという雰囲気になっていない。	
	雇用	下北	食料品製造	「変わらない」と答えましたが、景気が良くなっていても物価が高くなっているため、人によってやや良い、変わらない、やや悪いにあてはまるように思います。	
			東青	新聞社求人広告	燃料価格の上昇に加え、豪雪で思うように外出ができなくなってしまったことが悪影響を及ぼしている。
			津軽	人材派遣	最近周りでは賃金給与アップしたとの話を耳にするが、それ以上に灯油、ガソリン等のエネルギーや食料品の価格上昇が経済的負担になっている。賃金上昇のプラス分を物価上昇が相殺する形になっている。
やや悪くなっている	東青	東青	百貨店・スーパー	年末年始の大雪と積雪で、初売りやセールへの購買意欲が落ちているから。	
			衣料専門店	秋以降消費マインドが激減している。消費を刺激する商材を提供するのが仕事で、他人のせいにするのではないが、政府の積極的景気刺激策が必要です。	
			ガソリンスタンド	物価高の一言につきる。	
			家電量販店	長引く残暑による秋・冬物の動きが鈍かったことに加え、物価高による節約志向も影響し、季節商品の買い替えを控えている方が見受けられた。	
	津軽	津軽	観光名所等	ツアー催行率の低下。台湾定期便後もインバウンドツアー利用が伸び悩み。	
			レストラン	3か月前は観光客やビジネス客がかなり来ていた。12月はその約3分の1程度になっている。飲食店の利用も同様。	
			家電量販店	物価高騰、災害級の大雪などで、消費者の財布の紐がかたい。	
			スナック	物価高や燃料費高騰で景気は上がっていない。	
			都市型ホテル	観光客の減少に伴う宿泊客の大幅な減少。	
			衣料専門店	物価高。商店はコロナ時の補助券なし。	
	県南	県南	旅行代理店	物価が上がり、所得が追い付かないため。	
			百貨店・スーパー	物価上昇が続いていることに加え、政府の燃料補助金が縮小されたことで、ますます食費を抑える動きが見られる。	
ガソリンスタンド			賃金上昇より、物価上昇が急激なため。		

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	県南	レストラン	外食や飲みに出る地元のお客様が減ってきている。八戸の中心街に地元の方が来ていない。
			百貨店・スーパー	電気料金、ガソリン代金の負担増。衣食住に関連する生活必需品の値上げ。人手不足によるサービスの低下。定休日・営業時間の短縮。
			コンビニ	物価や人件費の高騰。
			住宅建設販売	物の価格が上昇しているが、給与が上がらない。
			一般小売店	一昔前、ラーメン一杯5~6百円の認識だったのが、ちょっと前に8百円~千円になり、今千円越えが当たり前になりつつある。外食も減ると思う。
		設計事務所	物価高や、税金の上昇の影響を感じる。	
	下北	レストラン	物価の高騰。	
		タクシー	ガソリン・灯油の値上がり物が物価上昇に重くのしかかりました。	
	企業	東青	経営コンサルタント	3か月前は、インバウンドや県外の観光客の増加による宿泊・観光施設の利用により、観光消費が高まっていたが、観光シーズンが終了すると景況感がなくなり、大雪による天候要因から消費傾向はますます悪化してくると思われ、節約志向は強まる。
			経営コンサルタント	定額減税の良い影響は全く感じられず、月次の事務や例年より複雑な年末調整、会社の事務方の仕事が煩雑になった一年でした。12月初旬からの積雪が例年より早く根雪になり、外出が少なくなったのと、年末から正月三が日の豪雪で、せっかくの長期休暇が雪かきに追われていた。最低賃金の上昇により多少給与支給額が上がったものの、物価上昇に追いついてないという感じ。100円ショップや設定価格の安いファミレス等の駐車場はいつでも混雑している印象で、生活全般を格安なもので済ませているようだ。
		津軽	食料品製造	何もかもが値上がり、物が売れない。
			電気機械製造	受注が減少している。
雇用	東青	求人情報誌	ニュースで県内企業倒産件数が過去10年で最多と出ている。この現状を見て景気が上向いているとはとても思えない。物価高、人件費上昇が特に影響が大きく、努力ではどうしようもない企業が多いと感じている。	
	津軽	新聞社求人広告	年末年始の野菜の高騰をはじめ、コメ・食品が高いうえ、ガソリン、灯油の値上がりで市民生活は苦しく、かなりな節約を余儀なくされている。	
	県南	人材派遣	昨年の衆院選を契機に景気回復を期待したが、新内閣発足後も、日々の仕事やお客さまの様子からは景気回復感あまり感じず、逆に物価上昇をはじめとした先行き不安感の方を感じるため。人材派遣業界（企業の採用事情）も依然として人材不足（採用難）は顕著であり変化は無い。	
悪くなっている	家計	東青	一般飲食店	要因が重なり、全体的に景気の悪化が感じられる気がします。感じる限り、現在青森市では以下の状況が影響し、昨年より厳しい状況に思えます。雪の影響で交通機関や物流の遅延が発生し、外出控えが増加。物価高で原材料費や光熱費の上昇により、消費者の購買意欲が減少。忘年会シーズンにも関わらず低調、昨年の売上を100とすると、今年は約70程度まで落ち込んでおり、3割減少の傾向が見られます。特に物価高の影響が大きいのかなと思います。

現状	分野	地区	業種	理由
悪くなっている	家計	東青	レストラン	物価の高騰と年末年始の大雪による影響が大きい。
		津軽	一般小売店	弊社の所在地は昨年8月に破産した百貨店があった商店街の一角であり、それ以降客足が減っており、売上げが減少しているが、郊外の大型店やスーパーなどに行っても、以前より賑わっていないように感じます。あまりにも食品を始めとした諸物価が高騰していることによる景気の悪化現象ではないかと思えます。
		県南	スナック	飲食店は混んできているが、二次会などが減っている。

## (2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	設計事務所	今後の3か月は受験や就職に関係した移動が出てくることでしょうが、宿泊や移動の費用負担がのしかかり厳しい状況があるのではないのでしょうか。
			観光名所等	インバウンド需要が継続すると思われるほか、お得なJR切符が販売されるから。
やや良くなる	家計	東青	旅行代理店	そうなってほしいと思う願望。
			百貨店・スーパー	今後は気温が高めに推移する予測であることから、今が底であり今後は回復基調にあると考えられるため。
			レストラン	ある程度雪が収まると人の流れもできるのでは。
		津軽	レストラン	昨年よりやや予約状況が良いため。
			卸売業	大雪や燃料費高騰、物価高は続くので景気は悪くなる。
			百貨店・スーパー	物価高が続き、所得がついてこない。
	企業	県南	美容院	政府の景気対策で皆さんの意識が少しずつ明るくなっている様な気がする。
			紙・パルプ製造	宴会の見通しは不透明な部分はあるが、ネット予約を中心に宿泊が堅調に推移しています。
雇用	県南	食料品製造	冬が終わり、人々の活動・行動の幅が広がると思ったからです。	
		人材派遣	今後もライフラインの値上げが続く見込みであることを考えると、それに伴いあらゆるモノ・サービスの値上げがなされることも容易に想像できるため。	
変わらない	家計	東青	コンビニ	常連のお客様で成り立っているので、変化はない。
			商店街	物価高が懸念材料ですが、お客様からのご利用については、堅調に推移すると見込んでいます。
			一般飲食店	当市では冬季における雪の影響で外出控えが続き、消費活動が活発になりにくい状況が予想されます。この傾向は例年変わらないため、特段の改善は見込めません。現在の物価高は依然として続いており、原材料費や光熱費の負担が軽減される兆しは見られません。これにより、消費者の購買意欲は引き続き低調と考えられます。忘年会シーズンの低調さが見られる中、1~3月の閑散期も例年通り大きな回復は期待できず、現状維持が続くと予想されます。これらの要因を総合的に判断し、景気が好転または悪化する兆しはなく、現状が続く可能性が高いと考えました。
			家電量販店	ガソリンの価格、電気・ガス料金を抑える日本政府の価格補助が終了したことで、物価高に賃上げが追い付いていない状況が続いており、高単価商品の買い控えが見られ、日用消耗品や食品といった必要最低限の買い物にとどまっていることが見受けられるため。
			ガソリンスタンド	今後3か月はリフォーム含め住宅業界は活発に動くと思われます。しかし、4月以降に関しては、建築基準法の改正や4月以降の新規受注商品に対するメーカーの値上げ、省エネ基準の強化が3月まで活発に動いた分大きな反発を見せると思います。
住宅建設販売	原価の上昇を価格に転嫁できていない中での、他社との価格競争をする状態が続くため。			

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	百貨店・スーパー	光熱費にかかる負担が大きい状態は続きますが、節約しながらの生活スタイルは変わらないと思うため。
			タクシー	毎回同じような回答になりますが、景気が上向く気配を感じません。
		津軽	観光型ホテル・旅館	集客が推移している為。
			旅行代理店	社会的に賃上げの声が高まるものの、全ての物価が上がり続け、インフレに追いつかない。二度の値上げを行い、客単価アップを目指しているが、これからの労働環境を考えると従業員にとっても充分とは言えない。
			スナック	県のバス助成等の観光支援が薄くなり、これからの閑散期のツアー催行があまり期待できない。インバウンドは個人客が八甲田やスキー等の目的地以外は動かない事が多く、賑わいは一定のエリアのみ。県内を周遊する様なツアーに助成して欲しい。
			美容院	これから春までの期間に受注を見込んでいる業務が複数あります。
			家電量販店	物価高騰、ガソリン負担額増加で年末年始が終わると財布の紐がかたくなる。
			住宅建設販売	やはり雪が多いせい、春からの建築意識、きっかけまで思いが巡らない。現状の生活で目一杯です。
			百貨店・スーパー	物価高。
			衣料専門店	景気が悪いままで変わらないという回答ですが、給料の上昇より物価の上昇がすごい勢いであるため。
	県南	衣料専門店	良くなるには中々難しい感じがします。どんどん材料が高騰を続け、おまけに各税金の支払いなどの出費などがあり、苦渋の決断が待ち受けている。売上げup、利益の確保が命題です。	
		観光名所等	会員数の減少と、食品衛生法の改正により商品数も大幅に減少傾向である。	
		乗用車販売	年末を越えると節制に努める人が多くなるため。	
		一般飲食店	特段良くなる要素が見当たらない。	
		商店街	良くなる兆しが無い。	
		娯楽業	安く安くと痩せ我慢ばかりしていても景気は良くならない。	
		コンビニ	コロナ禍の悪影響をいまだに引きずる企業がある中で、原材料の高騰分を価格に転嫁できずにいるため。	
		百貨店・スーパー	見込みがないように感じます。	
	下北	設計事務所	米新政権発足に合わせて、国政やビジネス業界全体が契機回復の方向に動き、地方経済の活性化につながっていくことを期待したい。	
		コンビニ	ただでさえ雪の多い1～2月は景気が厳しい上に、昨年大型店舗の閉店後、駅前も商店街も人出が少ない。	
一般小売店		冬場の節約志向が落ち着いて、春から人・モノなどの動きが出るのでは。		
企業	東青	食料品製造	原材料費や人件費などのコスト高はますます進み、消費者を直接相手にする業種では価格転嫁は困難と思われる。一方、価格転嫁ができた運輸関係では収益を出せるよう改善した企業もあるが、企業全体としては価格転嫁には時間がかかる。	

先行き	分野	地区	業種	理由	
変わらない	企業	津軽	電気機械製造	状況変化が発生しない。	
			食料品製造	良くなる要素が皆無。	
		県南	建設	1~3月についてはさほど変わる要因がなく、このままだと思います。	
			電気機械製造	全ての物が値上げ。加えて燃料油の補助金も減額し、全油種10円値上がりした。北国の地方は余計に家計や企業経費を圧迫されている。	
やや悪くなる	家計	東青	衣料専門店	店頭の商材を見ると、インポート関連を中心に物価高が顕著、消費マインドも下がるということ。来店者（住宅関連）の話から、部材の高騰が新規着工、リフォームなどにブレーキがかかっているとか。商店街関連から、冬季は観光での来街者が落ち込む。4月以降は期待できるのでしょうか。	
			娯楽業	資材価格、人手不足、労務費高騰等に直面しています。零細建設業倒産は前年を上回り、この先どのように知恵を出して推移するのか注視です。円の動向、ガソリン価格値上がり等、生活にも重い負担が続きそうです。	
		津軽	設計事務所	受注の増加が見込まれないため。	
			乗用車販売	現状維持が続くのではないかと思います。	
		県南	観光型ホテル・旅館	これから物価上昇が続き、給与は変わらないと思われるから。	
			百貨店・スーパー	物価上等が続いていることに加え、政府の燃料補助金が縮小されたことで、ますます食費を抑える動きが見られる。	
			家電量販店	インフルエンザやコロナの影響で飲み会は減っていたり、キャンセルがつづいて、歓送迎会や卒業式の祝賀会の二次会などで街にお客様が流れてほしい。今より更に売上げが落ちる事はないように期待したい。	
			ガソリンスタンド	良化する理由が現状見当たらないため。	
			一般小売店	昨年、当社も少しベースアップしたものの、物価の上昇にまったく追いついていないと認識している。消費は縮小に向かうと思う。	
		下北	レストラン	物価は高くなる一方、働く人の収入が増えない。	
			百貨店・スーパー	賃金上昇のプラス分を物価上昇が相殺する形になっている状況が改善される兆候がない。	
		企業	東青	建設	国から地方に物価高騰対策交付金が交付されたため。
				津軽	飲料品製造
			県南	広告・デザイン	さまざまな物品、サービスの値上げによって、消費者の消費意欲は想像以上に大きく落ち込んでいて、家計の維持に必死の状態。当面、財布のひもがゆるくなりそうな要素は見当たらない。
				経営コンサルタント	再び多品種にわたり、食料品を中心とした値上げが実施され、米大統領の就任で円安傾向が継続すると思われるから。
			食料品製造	当県は公務員と一部の業種しか給料が上がっていない。	
雇用	東青	人材派遣	物価高は今後も変わらないと思うのと、最低賃金が上昇しているので少しずつ良くなると思う。		
悪くなる	家計	津軽	一般飲食店	特に良くなる要素が見当たらないため。	
		県南	旅行代理店	給与水準は若干上がっているが、それ以上に必要な物の価格が上がりすぎ、高止まり。(米、ガソリン、他生活必需品)	

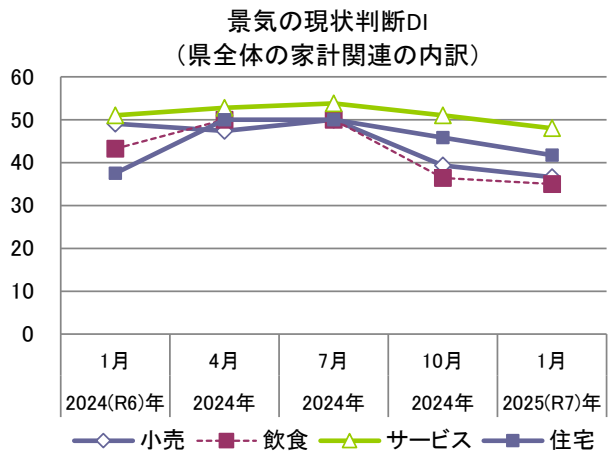
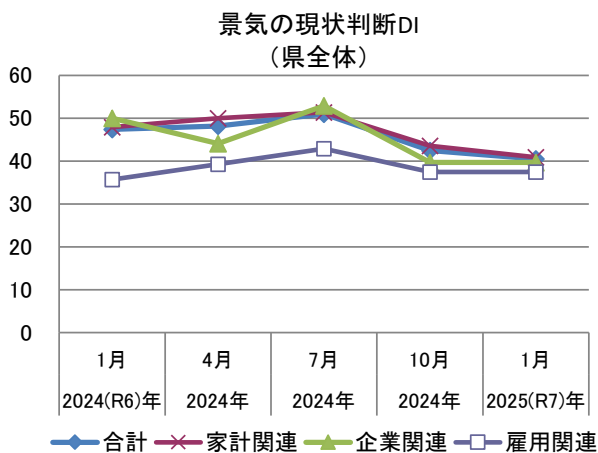
## 5. 参考

### (参考1) 景気の現状判断

#### ①DI

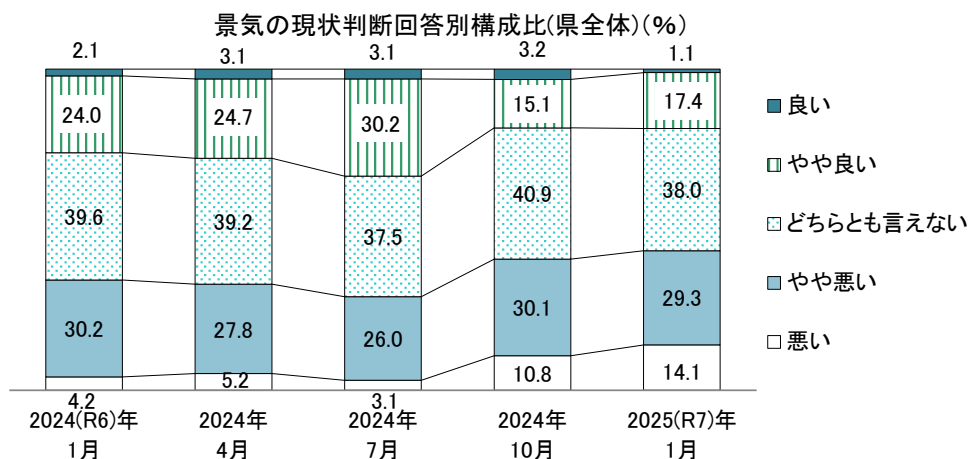
n = 92

	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	前期調査 との差
合計	47.4	48.2	51.0	42.5	40.5	▲ 2.0
家計関連	47.9	50.0	51.4	43.6	40.9	▲ 2.7
小売	49.1	47.4	50.0	39.3	36.6	▲ 2.7
飲食	43.2	50.0	50.0	36.4	35.0	▲ 1.4
サービス	51.0	52.8	53.8	51.0	48.0	▲ 3.0
住宅	37.5	50.0	50.0	45.8	41.7	▲ 4.1
企業関連	50.0	44.1	52.9	39.7	39.7	0.0
雇用関連	35.7	39.3	42.9	37.5	37.5	0.0



#### ②回答別構成比 (%)

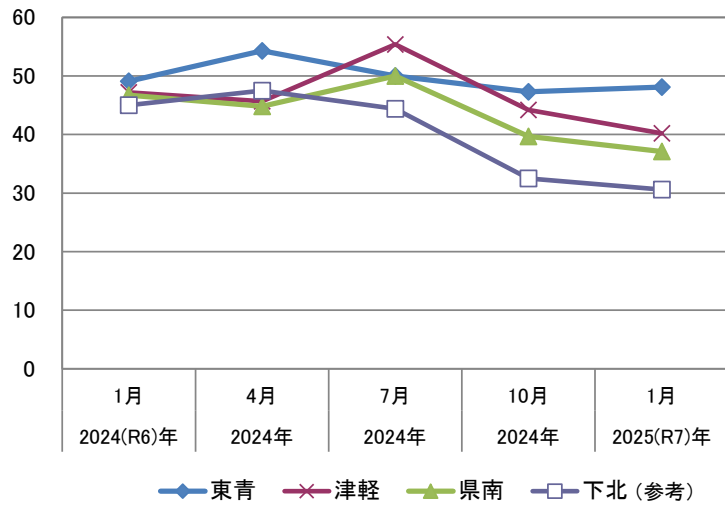
	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	前期調査 との差
良い	2.1	3.1	3.1	3.2	1.1	▲ 2.1
やや良い	24.0	24.7	30.2	15.1	17.4	▲ 2.3
どちらとも言えない	39.6	39.2	37.5	40.9	38.0	▲ 2.9
やや悪い	30.2	27.8	26.0	30.1	29.3	▲ 0.8
悪い	4.2	5.2	3.1	10.8	14.1	▲ 3.3



③地区別DI

	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	前期調査 との差
合 計	47.4	48.2	51.0	42.5	40.5	▲ 2.0
東青	49.1	54.3	50.0	47.3	48.1	0.8
津軽	47.2	45.7	55.4	44.2	40.2	▲ 4.0
県南	46.7	44.8	50.0	39.7	37.1	▲ 2.6
下北	45.0	47.5	44.4	32.5	30.6	▲ 1.9

景気の現状判断DI  
(地区別)





## (参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	衣料専門店	景気について少しおののいている。以前の政権末期の雰囲気似ていないか。何かどんよりとした「高齢化に備え国民が自助努力蓄えよ・・」、街には朽ちた住居が放置されスパイラルへ。その暮れには政権が変わるとの情報、一気に世界が明るくなりました。朽ちた住宅は取り壊され更地に、新しい住居が立ち始めました、明るい未来には先への投資が絶対必要と思います。
家計	東青	家電量販店	燃料価格高騰により灯油販売が前年よりも落ち込んできている。
家計	東青	商店街	アジア系の観光客が非常に増えていると見受けられます。年末年始の想定を超えた大雪では、徒歩はもちろんの事、車を利用しての外出さえままならなくなった方々が続出し、地元客の動きに関しては期待を下回ったと思いますが、外国人対応ができていた飲食店ではこれまで以上と見える行列が見られていました。地元の動向については、今後の積雪や除排雪の具合が最も影響が大きく、今年一番気にかかるところです。
家計	東青	一般飲食店	いろいろな要因がありますが、当店では時代の変化に柔軟に対応し、お客様のニーズに即応するため、QRコードオーダーシステムを導入しました。このシステムは、少ないスタッフでも迅速かつ正確なサービス提供を可能にし、非接触型サービスが求められる現代の状況にも対応しています。さらに、業務効率の向上により、浮いたコストを価格に反映させることで、厳しい経済環境の中でもお客様にとって利用しやすい価格帯を維持する努力を続けています。これによりお客様の購買意欲を高め、リピート利用を促す仕組みを整えています。これからも、時代の変動や社会の要請に即応し、柔軟な改善を重ねながら、お客様に満足いただけるサービスを提供していきたいと考えています。
家計	東青	レストラン	年末年始の繁忙期に、大雪のため交通障害で時間通りに動かない。また、タクシーの台数が少ないためにお客様が帰れない状態に。店側も閉店できなくて、従業員も帰れない状態に。とにかく除排雪を早急にやってほしいし、タクシーの台数も増やすシステムを作ってほしい。
家計	東青	観光名所等	年明け豪雪のためか入込客数が減少している。
家計	東青	旅行代理店	物価高への懸念。
家計	東青	設計事務所	雪国の宿命でしょうが、12月の雪がとてつもなく多く除雪がこたえます。費用はかかるが融雪機があつて助かりました。
家計	東青	住宅建設販売	政治の力の重要性を強く感じています。国会議員を含めて本県からまともな政治家を育成することが必要です。
家計	津軽	百貨店・スーパー	市内百貨店倒産で街が閑散としている。
家計	津軽	百貨店・スーパー	昨年は雪も少なかったためか、暖房エアコンが好調だったのだが、今年の豪雪でエアコンよりも石油ストーブの方が購入されている。
家計	津軽	乗用車販売	豪雪により、スキー場関連や除雪業者は景気が良くなると思われ、その辺から回って景気が良くなって欲しいと願います。
家計	津軽	衣料専門店	灯油やガソリンが高いと生活困窮者の負担は大きい。外食する人が減り、買い物もしぶり、経済回復の見込みはないので県外へ移住したほうが何かしらの希望が持てそうだと感じてしまう。
家計	津軽	商店街	賃金は上がっているとは思いますが、その他の出費が多いので景気は良くならない。
家計	津軽	観光名所等	リアル接客の業界にもネットビジネスの波がやって来た。それもビッグウェーブとなりそうだ。登録会員が24時間、休日関係なく買い物をしてくれる。
家計	津軽	設計事務所	電気料金の見直しをしませんか？という営業の電話等がたくさんかかってきます。今までの料金が何だったのかと疑うほどのコストの削減が見込めます。しかしどれが本当の話なのか、見極められません。
家計	津軽	住宅建設販売	住宅建築には、資金調達(借入れ)問題が大きく左右します。現在地方銀行が春から合併スタートすることで、貸し渋りや金利上昇の気配が見えてくると、更に意識にブレーキが掛かるかも知れません。

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	コンビニ	当店売場から雑誌がなくなりました。
家計	県南	百貨店・スーパー	時給アップ、給与アップと政府が言っているが、ローカルのことはぜんぜん理解していないように思われる。このままですぐとは言わないが、特に飲食業がどんどん撤退する要因を作っているようにも感じられる。ただ値上げだけで解決するとは思えない。零細企業は人手不足も足かせになっている。中、大企業の時給upには勝つことが出来ない。
家計	県南	タクシー	自転車の飲酒運転を検挙するようになり、平日飲みに出る人がますます減ったように感じる。
家計	県南	美容院	少子高齢化の対策で、弱者に対して政府の気が向いたのを感じる。新内閣のこれからに期待しています。
企業	東青	広告・デザイン	市内の競合店が春に向けてオープンするため、現状来店されているお客様をいかに固定顧客化するかが重要と考えている。また、弊社は百貨店を運営しているが、ディスカウントショップが市内に増えるような流れで、価格に対する意識が強いように思う。
企業	津軽	食料品製造	当地区で開店予定の大手スーパーの雇用条件について、県内最低賃金及び地域相場よりも大幅に高い時給となっている。
企業	津軽	建設	物の値段がR6年に続き、R7年も値上がりが決まっていて、生活はどうなるのか心配。賃金は少し上昇したが、それ以上の物価高で生活できない。いつまで続くのか。今年の雪はいつも以上のドカ雪で雪片付けが大変。まだ1月の始めなのにこれ以上の雪はいらない。除排雪を役所で困っている時にやってほしい。
企業	県南	飲料品製造	多雪地帯にこれからも安全に、安心して暮らすためにはどうすればいいのか、改めていろいろと考えている人が多いと思います。効率的で柔軟な除雪体制、渋滞解消のための時差通勤、鉄道、バスなど公共交通機関の運行確保など。いずれも簡単、単純ではないけれども、工夫次第で多少は冬の生活が楽になり、経済の好循環にもつながると思うのですが。
企業	県南	経営コンサルタント	八戸港の水揚げ量がイワシを中心としてここ数年と比較すると増加したので、生産活動が水産加工業を中心に、いくぶんか活性化しているのではないかとと思われる。

# 青森県景気ウォッチャー調査について

## 1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

### (1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺町村	30	23	4	3
津軽	弘前市とその周辺市町村	30	22	6	2
県南	八戸市とその周辺市町村	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺町村	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニエンスストア、百貨店・スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

### (2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 3か月後の景気の先行き判断とその理由

参考1 景気の現状判断

参考2 その他自由意見

### (3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

## 2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、景気の現状または先行きに対する5段階の判断それぞれの所定の点数に各判断の構成比(%)を乗じて算出している。

評価	良くなって いる	やや良 なっている	変わらない	やや悪 なっている	悪くなって いる
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が「(景気は)変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方向性を表す目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県総合政策部統計分析課 統計情報分析グループ

tel : 017-734-9166

fax : 017-734-8038